

大規模地震が起きたときの対応（保護者版）

太田市立旭小学校

平成23年3月11日の東日本大震災のような大規模な地震が発生した場合、学校は「災害時避難場所」であること「児童だけにしない」ことを原則に以下のように対応します。

＜登校途中に大規模地震が発生したとき＞

① 登校班と一緒に、気をつけて登校する

- 倒れそうなブロック塀や、道路上の障害物に注意して登校する。
- 停電で信号機が止まっているときは、いつも以上に注意して道路を渡る。
- 周囲に大人がいたら助けを求め、学校まで一緒にきてもらう。

② 家の人心配して途中まで迎えにきた場合

- 家の人と一緒に帰る。同じ登校班の人は学校到着後「〇年〇組の〇〇さんは家の人を迎えに来たので帰りました」と自分の担任に確実に伝える

＜在校中に大規模地震が発生したとき＞

① 教職員の指示に従い直ちに避難する

- 教室の机の下，体育館，校庭等状況を判断してもっとも安全な場所に教職員が避難誘導するので指示に従う。

② 震度5弱以上の地震が発生した際は，保護者の迎えを待って確実に児童の引き渡しをする。

電話などの通信機器等が使えなくなる可能性があります。震度5弱以上の地震が発生した場合は、メール等の連絡がなくても学校に迎えに来てください。保護者がお迎えに来るまで、お子さんをお預かりします。災害情報を確認し学校へのお迎えをお願いします。学校近隣の渋滞による緊急車両の遅れを避けるため徒歩での迎えとします。なお、緊急時の対応を優先するため学校への電話による問い合わせは応じません。（救急要請など、大切な連絡ができなくなるため）

また、互いの連絡が付かない場合もあり得ます。引き渡しの行き違い，混乱等を避けるため、お迎えは保護者または同居の大人，あらかじめ登録していただいた親類等に限らせていただきます。

＜下校途中に大規模地震が発生したとき＞

① 家に大人がいる場合

- 気をつけて下校する。

② 家が留守で子どもだけになってしまう場合

- 気をつけて学校に引き返すか、「子ども安全の協力の家」に避難させてもらう。

③ けが等で緊急な場合

- 近くの大人に助けを求める。